

エコーネットコンソーシアム活動報告（2023年4月～6月）

分類	活動状況
トピックス	<ul style="list-style-type: none"> ① ECHONET Lite 機器累計出荷台数 2022年度までのECHONET Lite 規格を搭載した機器の累計出荷台数が、1億3,879万台になりました（2023年5月）。 ② 国際標準規格発行 蓄電池-HEMS コントローラ間アプリケーション通信インタフェースが、4月20日に国際標準規格 IEC/ISO 14543-4-302 として発行されました。 ③ 会員 ID/メーカーコード ECHONET Lite Web API などでの利用を鑑みて、従来使用してきたメーカーコードを会員 ID/メーカーコードへと改めました。 ④ ECHONET Lite Web API ガイドラインの利用に関する方針（利用指針） 事業者が ECHONET Lite Web API ガイドラインを利用していることを宣言する場合の指針として、「ECHONET Lite Web API ガイドラインの利用に関する方針（利用指針）」を公開しました（2023年6月）。 ⑤ 各種規定および仕様書発行 「APPENDIX ECHONET 機器オブジェクト詳細規定 Release R」（2023年5月）、ECHONET Lite Web API ガイドライン API仕様部、ECHONET Lite Web API ガイドライン 機器仕様部などを逐次一般公開しました。
企画運営委員会	<ul style="list-style-type: none"> ① 国際標準規格発行 蓄電池-HEMS コントローラ間アプリケーション通信インタフェースが、4月20日に国際標準規格 IEC/ISO 14543-4-302 として発行されました。 ② 会員 ID/メーカーコード ECHONET Lite Web API などでの利用を鑑みて、従来使用してきたメーカーコードを会員 ID/メーカーコードへと改めました。これに伴い、「アプリケーション通信インタフェース仕様 仕様適合性認証 申請の手引き」や各種認証申請書を更新しました。 ③ ECHONET Lite Web API ガイドラインの利用に関する方針（利用指針） 事業者が ECHONET Lite Web API ガイドラインを利用していることを宣言する場合の指針として、「ECHONET Lite Web API ガイドラインの利用に関する方針（利用指針）」を公開しました。この指針では、ECHONET Lite Web API の利用拡大や円滑な商用展開のために会員 ID/メーカーコードに関する手順に従うことなどを定めています（2023年6月）。
技術委員会	<ul style="list-style-type: none"> ① 機器オブジェクト詳細規定 双方向対応高圧スマート電力量メータクラスと周波数制御クラスの新規追加を主な変更内容とした「APPENDIX ECHONET 機器オブジェクト詳細規定 Release R」を一般公開しました（2023年5月）。 ② ECHONET Lite Web API <ul style="list-style-type: none"> ・ 「ECHONET Lite Web API ガイドライン API仕様部（第1.1.5版）」、「ECHONET Lite Web API ガイドライン 機器仕様部（第1.5.0版）」、および「Device Description (JSON)」、および「Machine Readable Appendix Release Q rev.1 (v1.2.0)」を一般公開しました（2023年4月）。 ・ 「ECHONET Lite Web API ガイドライン API仕様部（第1.1.6版）」、「ECHONET Lite Web API ガイドライン 機器仕様部（第1.5.0版） Errata」、および「Device Description (JSON)」を一般公開しました（2023年6月）。 ・ 日本電機工業会様が公開された「VPP ガイドライン第2.0版」に記載されたユースケースを実現するための Web API の仕様をとりまとめた「ECHONET Lite Web API ガイドライン DR 関連サービス仕様 Version 1.0.0」を一般公開しました（2023年6月）。 ③ プラグフェスト <ul style="list-style-type: none"> ・ ECHONET プラグフェスト第29回（2023年2月16、17日開催）で参加者からいただいた指摘事項への回答を記載した規格書・認証仕様書レビューシートを公開しました（2023年4月）。 ・ 2023年9月7日(木)、8日(金)に開催する ECHONET プラグフェスト第30回の開催案内を送信しました（2023年6月）。今回も会場（神奈川工科大学 HEMS 認証支援センター）での参加だけでなく、リモートでの参加も可能です。
普及委員会	<ul style="list-style-type: none"> ① ECHONET Lite 機器累計出荷台数 ECHONET Lite 規格を搭載した機器の累計出荷台数は、1億3,879万台になりました（2023年5月）。 ② PCHA（Personal Connected Health Alliance）との活動内容をウェブサイトに掲載 PCHA（Personal Connected Health Alliance）との活動内容をウェブサイトに掲載し、「エコーネットコンソーシアム-PCHA データ連携に関するガイダンス」と「Personal Connected Health Alliance データ連携に関するガイドライン ECHONET Lite Web API 仕様例」をダウンロードできるようにしました（2023年5月）。 ③ 新サービス創造データ連携基盤検討会 デジタル田園都市サービスとして、レジリエンス、カーボンニュートラル、ヘルスケアの3つのユースケースで連携構造の検討を進めており、防災科研様（レジリエンス）、HL7 協会様（ヘルスケア）、NHK 放送技研様（放送と通信の融合）からの講演をいただき議論しました。 ④ エコーネット・シンポジウム2023 オンライン開催報告 2022年3月に開催したエコーネット・シンポジウム2023 オンラインの開催報告を、講演動画と共にウェブサイトに掲載しました。 ⑤ CEATEC2023 昨年同様、CEATEC2023（10月17日～10月10日）に JEITA スマートホーム部会と共同で出展する事となりました。